

財政と民主主義 ポピュリズム政策と財政膨張

東京財団フォーラム

2017年4月24日

加藤創太

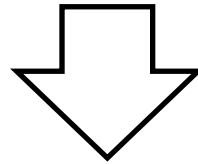
有権者は愚かなのか（1）

有権者の判断の受益者・被害者となるのは有権者自身

排外主義の支持→保護主義、グローバル市場の縮小

対外強硬策の支持→戦争、テロ

過度の財政膨張策の支持→財政破綻、高インフレ



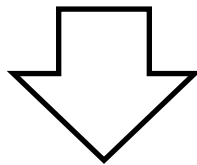
有権者は愚かなのか？ = 第1章の問

有権者は愚かなのか（2）

EU 離脱決定直後の英国における EU に関する質問上位 5 つ

- | |
|---------------------------------|
| 1. 英国が EU を離脱するというのはどういう意味を持つか？ |
| 2. EU とは何か？ |
| 3. EU の加盟国はどこか？ |
| 4. われわれが EU を離脱すると何が起きるか？ |
| 5. EU には何カ国が加盟しているか？ |

出典：2016年6月24日 Google Trends ([@GoogleTrends](#)) のツイート



どの国の実証研究でも、有権者の持つ政治情報は驚くほど少ないことが明らかに。不十分な情報で的確な判断ができるか？

有権者は愚かなのか（3）

最近のポピュリズム論（ポピュリズム＝大衆迎合）

有権者（大衆）の判断能力への疑義が暗黙の前提

ミシガン学派

有権者は一貫性を欠く、近視眼、情報不足、エリートに操作されやすい、自分の嗜好すら理解していない……

V.O.Key（1964）

“Voters are not fools.”

有権者は愚かなのか（４）

有権者が適切な判断をしない2つのケースを分けて考える

本質的に適切な判断ができないケース

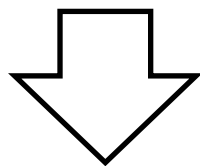
合理的な理由で適切でない判断をするケース

有権者は愚かなのか（5）

有権者が本質的に適切な判断ができないケース

民主主義の制約の方向に行くしかない

例 財政民主主義の制約：テクノクラート内閣、財政規律の硬性憲法化、財政の中央銀行版等



有権者でなければ誰が「適切な」判断をするのか？

民主主義には有効な代替案が存在しない

有権者の非合理性が生じる場面を実証研究で厳密に特定し、限定的に対応すべき

有権者は愚かなのか（6）

有権者が適切な判断をしない2つのケースを分けて考える

本質的に適切な判断ができないケース

合理的な理由で適切でない判断をするケース

有権者は愚かなのか（7）

有権者が合理的に適切でない判断をするケース

多数者 vs 少数者（多数者の専制）

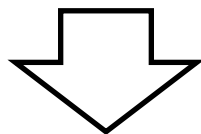
例：シルバー民主主義（日本）、人種差別、宗派对立

内部者 vs 外部者

例：将来世代の搾取、移民排斥

その他

例：コモンプール問題、制度要因、情報不足



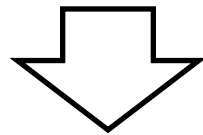
要因を分析した上で、適切な方向へとインセンティブ付け
する制度設計を実施（本書を貫くアプローチ）

財政問題における「ポピュリズム」(1)

乱用される「ポピュリズム(大衆迎合主義)」という概念

大衆に人気はあるが大衆にとり適切でない政策の存在を前提

- ✓ 有権者(大衆)の判断能力への懐疑が暗黙の前提
- ✓ 「適切でない」と判断しているのは論者自身
- ✓ 抽象的な観念論や歴史論が目立つ。なぜ有権者が自らにとり「適切でない」判断をしてしまうのかの分析がない



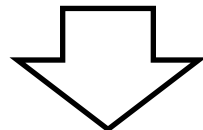
抽象的な議論や悲観論では具体的な対応はできない。過度に民主主義を萎縮させかねない。

適切ではない政策選択が行われる場面を緻密かつ分析的に特定し対応するアプローチが必要。

財政問題における「ポピュリズム」 (2)

経済財政分野でのポピュリズム政策

過度に積極的な財政金融政策、大幅減税策、恩恵的な医療・福祉政策などの**財政バラマキ策**

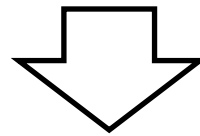


経済財政分野で問題となるポピュリズム政策とは、「**短期的に有権者に利益をもたらす（可能性が高い）ものの、長期的には不利益をもたらす（可能性が高い）政策**」

財政問題における「ポピュリズム」 (3)

人気政策と不人気政策

	短期+	短期-
長期+	理想政策	不人気政策
長期-	人気政策 (ポピュリズム政策)	失敗政策



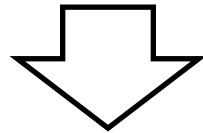
問題になるのは「人気政策（ポピュリズム政策）」が有権者から過剰に支持され、
「不人気政策」が過小に支持されるケース

なぜ人気政策が過剰に支持されるのか（1）

有権者の本質的な非合理性を前提とする説明

人間（有権者含む）は本質的に近視眼（Loewenstein & Prelec 1992; Thaler 1981）

公債錯覚（Buchanan 1967）



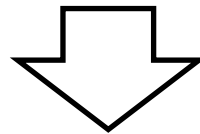
他方、たとえば次世代や若者への利他精神に富んだ非合理的な有権者は、過剰に「不人気政策」を支持し、過小に「人気政策」を支持する可能性も

なぜ人気政策が過剰に支持されるのか（2）

有権者が合理的に人気政策を過剰に支持する説明（1）

「合理的な近視眼」（Kato & Inui 2015）

- ✓ 有権者の持つ政治情報は極めて乏しい（「合理的無知（rationally ignorant）」）。政府と有権者との間の情報の非対称性が、有権者を合理的な近視眼にさせる。
- ✓ 政府や政治への信頼が低い有権者も近視眼となる

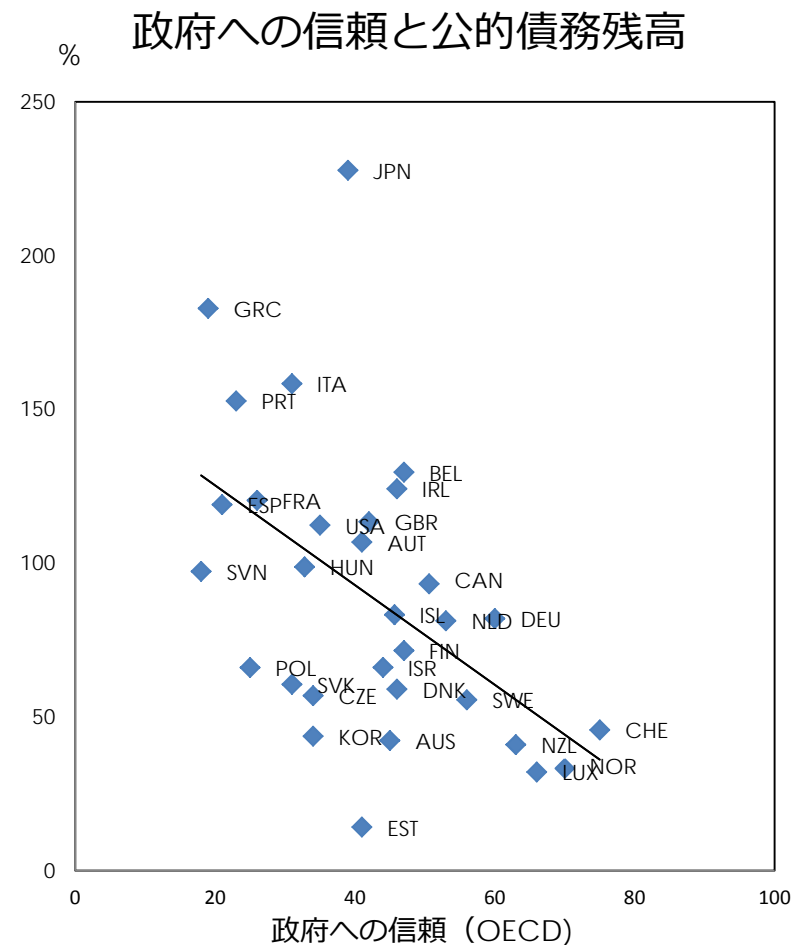
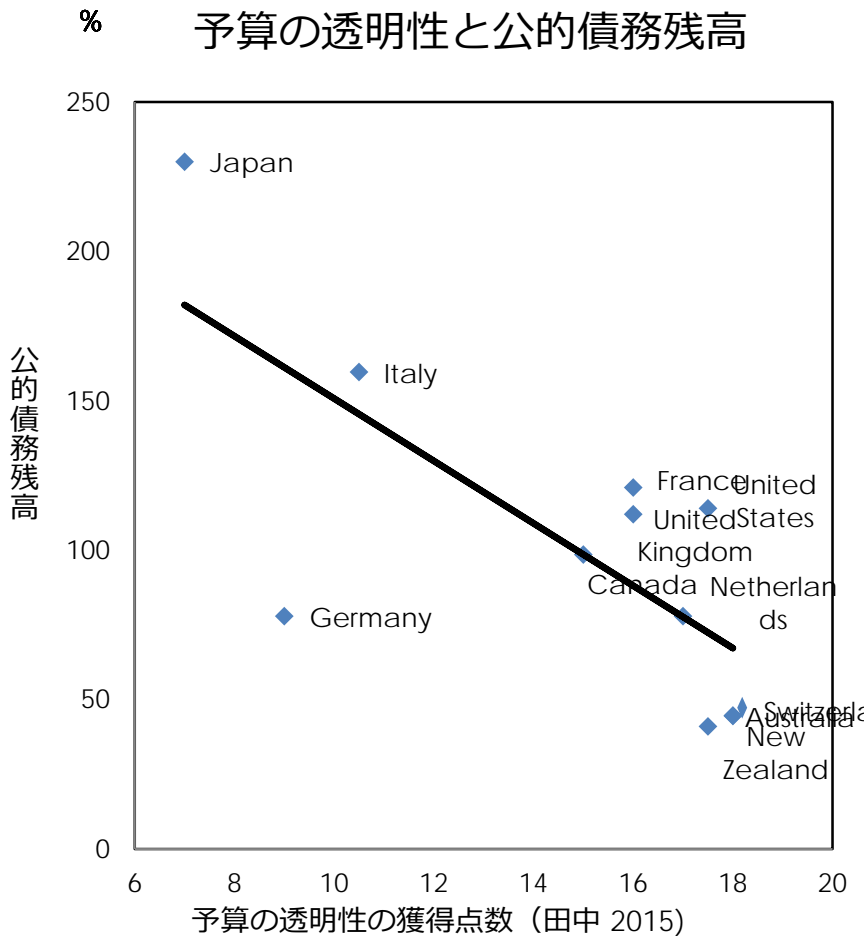


不確実性の高い状況では、目の前の果実が将来の果実より価値が高くなる

なぜ人気政策が過剰に支持されるのか（3）

予算の透明性が高い国ほど公的債務残高は小さい (Alt & Lassen 2006)

予算の透明性が高い国ほど選挙前のポピュリズム政策が観察されない (Alt & Lassen 2006)



なぜ人気政策が過剰に支持されるのか（４）

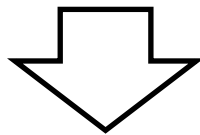
有権者が合理的に人気政策を過剰に支持する説明（２）

シルバー民主主義、世代間対立など

- ✓ 数で優る高齢者が若年者に借金をつけ回す
- ✓ 投票権を持つ現役世代が投票権を持たない将来世代に借金をつけ回す

各種制度要因

- ✓ 各種制度が与えるインセンティブが人気政策を過剰委に支持させる



第二章以下で説明

政策的対応のあり方（1）

有権者にいかに政治情報を流通させられるかがカギ

- ✓ 財政の透明性確保の徹底が必要条件だが「合理的無知」を乗り越えるには不十分
- ✓ 「合理的無知」を克服するには、有権者の情報収集・分析コストを節約させる施策が有効。長期的な将来推計の提示など。メディアやシンクタンクの情報媒介、情報分析機能も重要
- ✓ 有効な政治情報を流通させる政治教育制度の整備
(Lupia 2016)

政策的対応のあり方（2）

情報を十分に有さない有権者が信頼できる政治主体の確立

- ✓ 有権者は「政党投票」により情報収集コストを大幅に節約できる（Popkin 1994）。長期視野と一貫性を持った責任政党の確立。そのための政党法制定などを通じた政党ガバナンスの強化。
- ✓ 信頼できる政治的リーダーシップの確立（例 小泉首相就任時の「米百俵の故事」の紹介）

政策的対応のあり方（3）

有権者の当事者意識の醸成

- ✓ 民主主義の健全な機能のためには、有権者が当事者意識を持つコミュニティの発展が必要。民主的に運営されるマンションの管理組合が財政破綻しないのは、構成員が当事者意識を持つコミュニティが成立しているため。
- ✓ 財政判断の単位とコミュニティの単位とが近似すれば、当事者意識を持った判断が可能となる。そのために財政の地方分権化を徹底。